

TDCG

東京歯科大学同窓会会報

1981年4月 第200号

東京歯科大学同窓会会報 第200号

目次

巻頭言	1
お知らせ	2
本部短信	3～7
逝去会員	8～9
支部だより	10
クラス会だより	11～18
すいどうばし	19～20
へんしゅうこうき	20



東京歯科大学同窓会会則	21～31
東京歯科大学同窓会会則施行細則	32～38

(表紙・カット 菊池 豊)

巻頭言

三識——良識 常識 見識

副会長 伊丹 一 男

「歯科医師たる前に人間たれ」とは血脇先生の有名な言葉である。

我々は単にホモサピエンスであるだけでなくヒューマニティに富んだ心暖かい人間でなくてはならないと悟されたのであろう。

最近の医療界、特に歯科医師に対するマスコミの攻勢は止るところをしらない。それには誤解もある一方、偏見と悪意に満ち溢れたものも見受けられる。

しかしまことに残念なことには、社会人としての良識、常識、そして歯科医師の見識が問われるような結果となり、あたかも全てが事実の如くみられたことである。

何故に我々歯科医師だけを悪もの扱いにするのか、世のなかにはもっと悪いやつがいくらでもいるのではないかと云う人もいる。

だが、全ての歯科医師は仁愛の精神の持ち主であり、心から尊敬に値する立派な人たちである筈だと云う期待感が国民の胸のうちに存在するからこそ、他の職種とは違って小さな誤ちも見のがしてはくれないのである。

「人間たれ」と教えられた血脇先生は「正すべきは正した上で歯科医師としての良識を貫ぬき、学問的見識に立って堂々と発言して社会に対処しなさい」と今や再び我々に悟されておられることであろう。

お知らせ

○ TDC卒後研修セミナー（'81）

◇第5回〔昭和56年5月23日（土）〕

§3. 加齢変化に対応した術後経過の分析

- | | | |
|-------------|---------------------------------|-----------------|
| 9:30~11:00 | 1. クラウンをとりまく諸問題 | 山口 明弥（昭和大・歯・補綴） |
| 11:00~12:30 | 2. クラウン・ブリッジの経過から | 菅野 博康（宮城県・開業） |
| 13:30~16:30 | 3. 加齢変化は予測ができるのか
—術後経過の分析から— | 金子 一芳（東京都・開業） |

◇第6回〔昭和56年6月20日（土）〕

- | | | |
|-------------|--------------------------|----------------|
| 9:30~11:00 | 4. 少数歯残存症例への対応から | 松元 誠（医歯大・歯・補綴） |
| 11:00~12:30 | 5. パーシャルデンチャーの経過から | 藤原 康功（静岡県・開業） |
| 13:30~16:30 | 6. ペリオの問題をかかえたパーシャルデンチャー | 片山 恒夫（大阪府・開業） |

◇第7回〔昭和56年7月11日（土）〕

- | | | |
|-------------|-----------------------------------|-------------------|
| 9:30~11:50 | 7. 細胞・組織も“とし”をとるのか—老化の生物学 | 能村 哲郎（埼玉大・理・生体制御） |
| 12:50~15:50 | 8. 修復処置の期待と結果のくいちがいから | 山下 敦（岡山大・歯・補綴） |
| 16:00~16:30 | ◇ '81まとめと '82の展望
◇ 受講証の授与、会長挨拶 | 卒後研修特別委員会 |

ところ 経団連会館14階経団連ホール

（地下鉄丸の内線・千代田線・東西線大手町駅、国電東京駅下車）

○ 第9回進学指導セミナー

とき <Aクラス> 昭和56年7月25日（土）～8月9日（日）（16日間）

<Bクラス> 昭和56年8月1日（土）～8月2日（日）（2日間）

○ 昭和56年度東京歯科大学同窓会評議員会・総会・懇親会

とき 昭和56年11月6日（金）

ところ 高輪プリンスホテル

○ 東京歯科大学記念行事

千葉校舎竣工式ならびに祝賀会

とき 昭和56年11月7日（土）

○ 大学創立90周年記念式典ならびに祝賀会

とき 昭和56年11月8日（日）

○ 東京歯科大学同窓会第10回ゴルフ大会

とき 昭和56年11月13日（金）

ところ 袖ヶ浦カントリークラブ袖ヶ浦コース

本部短信

1) 行事出張, その他

- 1月22日 大森支部懇談会 河邊会長出張
24日 卒後研修セミナー(開講)
河邊会長他役員出席
24日 杉並支部懇談会 中久喜理事出張
24日 京北歯科同窓会懇談会
井上名誉会長出張
26日 学術部委員会(進学指導セミナー担
当)
26日 卒後研修セミナー講師打合会
28日 卒後研修セミナー講師打合会
29日 役員打合会(共済部担当理事)
31日 愛知県連合会総会
河邊会長, 熱田, 伊藤理事出張
31日 宮城県支部長故丸森源七郎氏葬儀
安嶋副会長列席
2月5日 進学指導セミナー講師打合会
6日 役員打合会(共済部担当理事)
6日 卒後研修セミナー講師打合会
13日 卒後研修特別委員会(合同)
16日 役員打合会
18日 広報部委員会(会報編集)
20日 理事会
20日 同窓会役員, 教授団との懇談会
21日 高橋謙作先生叙勲祝賀会
伊丹副会長参列
21日 卒後研修セミナー(第2回)
22日 三重県支部総会 安嶋副会長出張
24日 卒後研修特別委員会(モニターリン
グ小委員会)
24日 荒川支部総会 中久喜理事出張

- 3月5日 役員打合会
6日 共済部委員会
10日 卒後研修特別委員会(企画)
11日 広報部委員会
13日 新入会員オリエンテーション
福本, 中久喜, 津島, 溝上各理事出
席
14日 東京歯科大学第86回卒業証書授与式
河邊会長他役員参列
17日 常任理事会
18日 東歯関係日歯役員代議員都道府県歯
会長懇談会 河邊会長他役員出席
20日 大分県支部総会 河邊会長出張
20日 卒後研修特別委員会(モニターリン
グ小委員会)
20日 前青森県支部長故浅田喜三郎氏葬儀
板垣副会長列席
23日 卒後研修特別委員会(企画小委員会)
25日 第31回歯科衛生士専門学校卒業式
河邊会長参列
28日 卒後研修セミナー(第3回)
29日 中信支部総会 伊丹副会長出張
30日 役員打合会(共済部担当理事)
31日 卒後研修特別委員会(企画作業委員
会)

2) 支部長交替

- 品川支部 松沢 政敏(昭33.3卒) 56. 1. 1
北多摩支部 田辺 明(昭26.3卒) 56. 1. 1
湘南支部 清野三佐夫(昭24.3卒) 56. 1. 1
佐賀支部 佐藤 曄(昭19.9卒) 56. 2. 11

共 済 部 よ り

東 歯 大 同 窓 会 逝 去 会 員 死 因 分 類 調 査

(昭和50年度～昭和55年度)

下記の表は、昭和50年から昭和55年までに逝去された会員の死因別調査です。死因については支部長からの報告をもとにして統計をいたしました。“その他”には次のようなものがありますが、少数なのでまとめました。消化性潰瘍・結核・糧尿病・腎炎ネフローゼ・不慮の事故・死因不明。

	50 年	51 年	52 年	53 年	54 年	55 年
会 員 総 数(人)	8,085	8,143	8,188	8,228	8,279	8,297
死 亡 者 総 数(人)	107	124	129	121	122	120
死 亡 率(%)	1.32	1.52	1.57	1.47	1.47	1.44
全国平均死亡率(%)※	0.63	0.62	0.60	0.60	0.60	—

■死因別死亡数(上位6位まで)

心 疾 患	19	24	20	28	22	36
悪 性 新 生 物	17	18	28	29	28	21
脳 血 管 疾 患	18	19	17	26	20	15
老 衰	5	11	17	15	14	20
肺 炎・気 管 支 炎	4	6	6	4	11	11
肝 硬 変	0	1	3	6	5	5
そ の 他	44	45	38	13	22	12

■死亡順位推移

1 位	心 疾 患	心 疾 患	悪 性 新 生 物	悪 性 新 生 物	悪 性 新 生 物	心 疾 患
2 位	脳 血 管 疾 患	脳 血 管 疾 患	心 疾 患	心 疾 患	心 疾 患	悪 性 新 生 物
3 位	悪 性 新 生 物	悪 性 新 生 物	脳 血 管 疾 患	同 脳 血 管 疾 患	脳 血 管 疾 患	老 衰
4 位	老 衰	老 衰	老 衰	同 老 衰	老 衰	脳 血 管 疾 患
5 位	肺 炎・気 管 支 炎	肺 炎・気 管 支 炎	肺 炎・気 管 支 炎	肝 硬 変	肺 炎・気 管 支 炎	肺 炎・気 管 支 炎

(注) ※ 全国平均は厚生省大臣官房統計情報部刊・人口動態統計による

昭和54年 全国死亡順位

1	脳 血 管 疾 患
2	悪 性 新 生 物
3	心 疾 患
4	肺 炎・気 管 支 炎
5	不 慮 の 事 故

新入会員オリエンテーション行わる

東京歯科大学同窓会新入会員に対するオリエンテーションは、例年卒業式の前日に行われている。本年は3月13日(金)午前11時30分、翌日の第86回卒業証書授与式のリハーサルの後、第2教室で行われた。

中久喜、溝上両教授は同窓会の理事でもあり、出席され、溝上理事より福本、津島の総務担当理事及び中野事務長の紹介が行われた。次に福本理事より会員8,297名を擁する同窓会の組織、諸会議、主なる事業に就いて説明があり、特にその中でも同窓会創立八十周年記念募金の現況、及び本年度354名の受講者によって開催されている全国

歯科大学同窓の羨望の的である、母校後援による東京歯科大学同窓会主催卒後研修セミナーについての話があり、卒業後の歯科医学、医療に対する研修の必要を力説した。津島理事からは入会手続き、或は開業して全国112の支部入会後の細かい注意事項等歓迎の言葉と共に述べられた。

最後に中野事務長より新入会員170名に対して本部保管の会員個人票の記入について説明があり、本年度のオリエンテーションは終了した。

なお資料として、本会の組織構成一覧、会則、役員、全国支部長名簿、全会員名簿が配布された。



住所変更届のお願い

住所の移動、町名等の変更がありました際には下記事項について同窓会事務局宛ご連絡下さい。

住 所 変 更 届

1. 会員の氏名 (卒業年次)
2. 所属支部名 (変更のない場合は、その旨記載)
3. 旧 住 所 地
4. 新 住 所 地 自宅 (〒) (電話)
診療所または勤務先 (〒) (電話)

第86回東京歯科大学卒業証書授与式挙行政

母校の第86回卒業証書授与式は、去る3月14日午後1時30分より母校水道橋の専門課程中央ホールで、関係者多数の参列のもとで挙行政された。

式は恒例によって中久喜 喬学生部長の司会で始まった。「君が代」斉唱のあと、高木圭二郎副学長の学事報告があり、次いで卒業生は、金竹哲也学監の呼名に従って一人ずつ登壇し、松宮誠一学長より親しく卒業証書を授与された。学長告辞に引き続き、鹿島俊雄理事長の挨拶、来賓の河邊清治同窓会長の祝辞があり、祝電が披露された。次いで在学生代表の市川義美君が送辞を述べ、卒業生を代表して西村一郎君が答辞を述べ、校歌を斉唱して厳粛かつ盛大裡に式を了えた。

多数の父兄はホールわきの回廊に十分なスペースがないために昨年同様第一教室でテレビの中継を見ながらの参加となった。

式の終了後、引き続き記念品の贈呈が行われ、河邊清治同窓会会長が同窓会会員章（バッヂ）と金一封を、また一戸俊治父兄会長は記念品と金一封の祝金をそれぞれ卒業生の代表に贈った。また卒業生からは、母校へ記念品として千葉校舎に設置予定のホールクロックが贈られた。

なお、学事報告によると、当日現在の母校在籍学生は進学課程353名、専門課程641名計944名で、今回の卒業証書授与式で卒業証書を授与され

たものは在籍学生のうちの170名である。これを大学設置以来の卒業生と合わせると4,201名、専門学校設置以来の卒業生と合わせると10,214名、高山 歯科医学院 創立以来の卒業生を通算すると10,505名となる。現在、学生の教育にあたっているものは、専任者として教授45名、助教授32名、講師75名、助手103名、副手3名計258名であり、この他に非常勤講師212名が在職している。

式典終了後、卒業生は恩師を囲んで記念写真を撮影した。会場を東京プリンスに移して行われた謝恩会は盛大なパーティーとなった。

今回の卒業生のクラス会の名称を「水公会」とすることが発表され、クラス会の代表に小林 顕君が推薦されたことが披露された。



第 86 回 卒 業 者 名 簿

氏 名	本 籍	氏 名	本 籍	氏 名	本 籍	氏 名	本 籍
明石京子	(群馬県)	我妻涼一	(福島県)	浅利幸彦	(埼玉県)	阿部二郎	(宮城県)
有泉祐吾	(山梨県)	鮎澤嘉之	(長野県)	安藤誠	(岐阜県)	飯田光穂	(長野県)
井口裕一	(東京都)	池田信子	(千葉県)	池田嘉徳	(神奈川県)	石井治	(千葉県)
石井孝典	(北海道)	市野亮治	(静岡県)	一戸達也	(神奈川県)	伊藤公仁	(東京都)
今村雅郎	(神奈川県)	岩田香代子	(埼玉県)	宇井康悦	(千葉県)	梅澤明世	(埼玉県)
海野智	(埼玉県)	大木長生	(長崎県)	大久保忠教	(愛媛県)	太田俊子	(山形県)
大須賀裕子	(愛知県)	小笠原美由紀	(神奈川県)	岡嶋元久	(新潟県)	岡田弥生	(栃木県)
奥平紳一郎	(愛知県)	奥寺裕子	(群馬県)	奥山泰夫	(山形県)	小倉公	(千葉県)
落合和久	(三重県)	押野明子	(北海道)	小野田繁	(東京都)	小見頭	(新潟県)
尾本和彦	(東京都)	柏原伸彦	(埼玉県)	春日芳彦	(東京都)	嘉藤恭司	(東京都)
角河孝枝	(千葉県)	川崎伸人	(愛知県)	北村一	(東京都)	橘高育代	(広島県)
公平善啓	(山形県)	木村秀仁	(岡山県)	久保秀二	(大分県)	栗原英之	(群馬県)
黒田真右	(愛媛県)	小池修	(長野県)	小泉好正	(山口県)	河内出身	(東京都)
河野生司	(熊本県)	小林頭	(東京都)	小林弘幸	(長野県)	坂田昭夫	(北海道)
佐藤和彦	(福島県)	寄岡道正	(愛媛県)	重松朋子	(愛媛県)	佐々木朗	(広島県)
笹尾美由紀	(広島県)	佐藤桂子	(秋田県)	佐藤浩一	(東京都)	佐藤健	(東京都)
猿田範雄	(茨城県)	塩津二郎	(東京都)	重見正弘	(福岡県)	柴田卓	(石川県)
斯波亨	(静岡県)	渋谷浩一	(神奈川県)	島千映子	(東京都)	島正博	(富山県)
島田芳美	(広島県)	白井盟子	(千葉県)	菅谷京子	(千葉県)	杉村守彦	(北海道)
鈴木明子	(静岡県)	鈴木潔	(宮城県)	鈴木信治	(神奈川県)	鈴木博	(東京都)
鈴木文登	(秋田県)	瀬川和之	(東京都)	関戸達哉	(東京都)	外信之	(石川県)
高岡啓太	(愛媛県)	高門渡	(愛媛県)	高田俊彦	(鹿児島県)	高野淳	(石川県)
高野秀幸	(東京都)	高崎英峰	(愛知県)	高橋幸七郎	(東京都)	高橋真	(秋田県)
高森幸生	(三重県)	竹内徹	(東京都)	獄崎晃一	(宮崎県)	竹下亨文	(石川県)
立花秀夫	(岡山県)	谷本理美	(神奈川県)	玉置義克	(神奈川県)	千葉孝	(宮城県)
辻孝	(三重県)	辻孝憲	(兵庫県)	豊田敦子	(山形県)	土井敦子	(岡山県)
長尾伸也	(静岡県)	中島幹夫	(東京都)	中西史彦	(岡山県)	中野洋子	(福岡県)
長野恭輔	(東京都)	中村忠	(滋賀県)	中村浩之	(愛知県)	奈良周彦	(秋田県)
成田雅之	(埼玉県)	二階堂雅彦	(東京都)	仁科裕次	(宮崎県)	西村一郎	(東京都)
西村臣史	(愛知県)	野嶋邦彦	(東京都)	野村茂樹	(神奈川県)	橋本貞充	(愛知県)
長谷部雅志	(愛知県)	花岡洋一	(東京都)	樋出誠	(香川県)	樋口恵子	(岡山県)
平川彰生	(鹿児島県)	平岡宏幸	(神奈川県)	藤関雅嗣	(東京都)	武士田雄二	(千葉県)
藤原英修	(岡山県)	堤一樹	(東京都)	船岡壽	(群馬県)	古屋博	(東京都)
紅井外二	(富山県)	星野晴代	(千葉県)	本目和由	(静岡県)	前原常雄	(東京都)
松岸京子	(山形県)	松永隆士郎	(静岡県)	松林康介	(千葉県)	松原文子	(長野県)
森雅樹	(佐賀県)	松本幸子	(韓国)	丸山文恵	(長野県)	水沼徹	(新潟県)
溝越俊二	(長崎県)	三ツ木久弥	(埼玉県)	三輪裕二	(東京都)	皆川佳徳	(新潟県)
宮崎弘隆	(三重県)	椋棒秀樹	(京都府)	村上京子	(福岡県)	森名子	(三重県)
森泰彦	(静岡県)	守内秀樹	(兵庫県)	森島丘	(東京都)	森永一喜	(千葉県)
森山貴史	(熊本県)	矢野興一	(愛媛県)	山川博	(東京都)	山口一美	(神奈川県)
山口秀夫	(三重県)	山倉久史	(千葉県)	山崎源人	(千葉県)	山脇万典	(岡山県)
吉川昭嘉	(東京都)	吉田泰彦	(富山県)	依光緑	(愛媛県)	若月達也	(山梨県)
渡邊隆	(大分県)	渡邊和夫	(富山県)				

以上170名

下記の会員が逝去されました。ここに謹んで哀悼の意を表し

心からご冥福をお祈り申し上げます

(敬称略・届出順)

●医学校 沖縄県支部	友寄英彦(84才) 〒900 沖縄県那覇市与儀549	老 衰	55.12.15
●医学校 千葉県支部	高木 鎧(77才) 〒299-16 富津市湊270	心不全	55.12.11
●推 薦 山梨県支部	高原寛五(84才) 〒400-05 山梨県南巨摩郡増穂町青柳285	心筋硬塞	55.12.20
●昭14卒 広島県支部	柏村 毅(63才) 〒737-11 呉市警固屋通12-32	心筋硬塞	55.12.21
●昭7卒 福島県支部	鈴木与一郎(76才) 〒970 いわき市南町43-5	急性心不全	55.12.21
●昭3卒 埼玉県支部	清宮辰雄(76才) 〒342 埼玉県北葛飾郡吉川町吉川1,757	食道静脈癌破裂	55.12.23
●大14卒 函館支部	山本広夫(80才) 〒043 北海道檜山郡江差町橋本町36	S字状結腸癌	55.12.20
●推 薦 尾張支部	服部基一(76才) 〒451 名古屋市区西輪ノ内町2-25	腸閉塞	55.12.27
●医学校 山形県支部	梅津桂吉(87才) 〒993 長井市宮536	脳軟化症	55.12.27
●昭7卒 西湘支部	郷土立夫(72才) 〒255 神奈川県中郡大磯町大磯1,000	心筋硬塞	56.1.15
●昭10卒 札幌支部	田村 元(70才) 〒064 札幌市中央区南七条西五丁目	心不全	56.1.18
●昭34卒 千代田支部	渡辺 甚一(64才) 〒101 千代田区神田岩本町4	脳溢血	56.1.21
●推 薦 鳥取県支部	宮田信次(82才) 〒689-05 鳥取県気高郡青谷町4,307	脳溢血	56.2.21
●昭23卒 横浜南部支部	鈴木徳治(54才) 〒232 横浜市区南白妙町3-39	脳出血	56.1.21
●昭8卒 中野支部	柴崎佐平 〒165 中野区新井町4-3-11	肺 癌	56.1.25
●昭20卒 宮城県支部	丸森源七郎(58才) 〒980 仙台市国分町2-15-10	肺 炎	56.1.28
●医学校 大阪支部	岡田琢治(93才) 〒646 大阪市東住吉区東田辺1-16-10	脳溢血	56.1.28
●医学校 鳥根県支部	水上久治(82才) 〒699-23 鳥根県瀬摩郡仁摩町148-1	脳硬塞	56.2.2
●昭2卒 埼玉支部	大塚 久(77才) 川越市通町14-3	老 衰	56.2.2
●医学校 日本橋支部	小野富太郎(88才) 〒103 中央区日本橋茅場町2-14	心筋硬塞	56.2.3

●大 14 卒 鳥取県支部	石井 定省 (83才) 〒680 鳥取市吉岡温泉町	脳 出 血	56. 2. 3
●昭 2 卒 岐阜県支部	白木 三五八 (78才) 〒501-11 岐阜市下鷺飼1, 474	尿 毒 症	56. 1. 15
●推 薦 南信支部	渡辺 市三 (82才) 〒399-41 駒ヶ根市赤穂幸町15, 413	老 衰	56. 2. 10
●昭 5 卒 千葉県支部	山田 幸善 (71才) 〒299-22 千葉県安房郡富山町市部53	直 腸 癌	56. 2. 9
●昭 20.9 卒 杉並支部	堀内 薫 (61才) 杉並区梅里1-5-7	心 囊 血 腫	56. 2. 15
●大 13 卒 東三河支部	稲垣 瑞次 (81才) 〒443 蒲郡市三谷町7-7	心 不 全	56. 2. 19
●大 8 卒 東三河支部	西村 禎祐 (82才) 〒440 豊橋市小池町原下86	心 不 全	56. 2. 25
●昭 6 卒 中野支部	橋本 信義 (74才) 〒164 中野区上高田2-46-11	膀 臟 癌	56. 3. 3
●昭 6 卒 江戸川支部	小荒井 銀行 (77才) 〒133 江戸川区南小岩7-17-5	癌	56. 1. 22
●昭 3 卒 茨城県支部	矢口 甚 (74才) 〒300-16 笠間市笠間1, 777	心 不 全	55. 12. 29
●昭 4 卒 札幌支部	増田 勲 (77才) 〒064 札幌市中央区宮ノ森4条2-27	胃 癌	56. 3. 1
●推 薦 浅草支部	酒井 照義 (88才) 〒145 大田区東雪ヶ谷5-18-4	心 不 全	56. 3. 7
●昭 5 卒 青森県支部	浅田 喜三郎 (74才) 〒030 青森市造道沢田45	胃 癌	53, 3. 15
●推 薦 鶴見支部	佐々木 栄一 (79才) 〒230 横浜市鶴見区生麦町1, 875	腎 不 全	56. 3. 18
●昭 10 卒 山梨県支部	宿沢 直謹 (74才) 〒404 塩沢市上於曾555	肺 癌	56. 3. 20
●昭 7 卒 静岡県支部	西尾 昌 (72才) 〒438 磐田市中泉町514-2	心 不 全	56. 3. 22
●大 6 卒 武蔵野支部	酒井 撓一 (92才) 〒180 武蔵野市西久保3-7-10	心 不 全	56. 3. 22
●大 4 卒 三重県支部	池部 宗弘 (87才) 〒514-01 津市一身田町2, 745	老 衰	56. 3. 26
●医 学 校 兵庫県支部	廣瀬 宗太郎 (84才) 〒652 神戸市兵庫区羽板通1-2-3	脳 出 血	56. 3. 12
●推 薦 富山県支部	三羽 邦定 (83才) 〒501-51 富山市新富町840	肺 性 心	56. 3. 29
●推 薦 尾張支部	山本 五郎 (79才) 〒492 稲沢市小池正明寺地藏寺4, 493	心 不 全	56. 3. 31

支部のうごき

東京地域支部連合会

東京地域支部連合会では1月26日、霞ヶ関ビル東海大学校友会館で、新執行部による第1回役員会を開き、①新役員の職務分担決定、②役員のプロック別選出については中央6名、江東5名、城西4名、城南6名、城北6名、多摩5名となっていることの確認、③都歯・日歯との連絡のために、都歯連絡要員に本会出身の都歯役員を委嘱、日歯常務理事に役員会案内郵送の件を了承、等の連絡協議を行った。

また第2回役員会を2月18日、都歯会館第一会議室で開き①各部年間事業計画の実施について、②支部長会開催について、③その他等について協議を行い、具体的に会務執行に乗り出した。特に、本年11月7・8日に行われる母校九十周年式

典等の記念行事には積極的に支援することを決定した。

新役員の職務分担は次の通りである。

(会長) 清藤志郎(副会長) 藤林 博, 阿部鋭夫(総括) 梅田昭夫(理事庶務) 中野年朗, 和田周志, 大山萬夫, 斉藤一夫, 上野真人(同会計) 宮下達也, 長岡寛征(同学術) 白川 尚, 鈴木一志, 矢内良徳, 原田望成(同広報) 河村秀雄, 中村泰之, 成田清彦, 安藤三男, 神谷文彦(同福祉) 佐藤忠男, 北村晴彦(同医政) 長坂健一, 斎藤孝正, 今井政弘, 山崎 智野村有市, 小山 実, 鈴木 良, 田中省順, 田中憲一, 吉井英祐, 高坂昌雄(監事) 朝永秀夫, 坂 寛(参与) 林 清, 山本義茂, 山崎数男

(安藤記)

* * *

東京歯科大学 永遠のモニュメント
●写真輯

「水道橋」

発刊のご案内

昭和初期の近代建築を代表する東京歯科大学水道橋校舎にはまだ、さまざまな思い出がこめられております。

建物の中に漂う幾多の感慨を永遠に語りつぐべく、写真家石内都が把え再現する東京歯科大学の魅力と、卒業生の「思い出の記」、巻末資料に水道橋校舎の沿革を収録し、写真輯「水道橋」の刊行を本年8月に予定しております。

※次号にパンフレット・申込書同封予定

判型/B4変型判 上製箱入

頁数/一八〇頁(写真一二〇枚)

印刷/オフセット
ダブルトーン印刷

写真/石内 都
(第4回木村伊兵衛賞受賞)

発行/一世出版株式会社

子価/一三〇〇円

(送料無料・予約申込制)

クラス会だより

三 辰 会

昭和7年3月卒

郷土立夫君の急逝を悼んで昭和56年1月15日時恰も成人の日で全国津々浦々の百数十万の青年男女が大人への仲間入りをされた本当にお目出たい日でありました。学業に職域に各自各様の道に精進することを誓い合ったことでしょう。

郷土君はこの祝祭日を休診日として一家団欒の夕食中、気分悪く2階に上られた直後、心筋硬塞の発作に襲われ、午後8時10分から40分までの僅30分間に急逝されたのでございます。医師を呼ぶ暇もない程、実に慌ただしい瞬間的な出来事でございます。畏友郷土君は遂に幽冥境を異にする世界へと旅立たれました。この夜遅く通知を受けた私は、明早朝大磯のお宅を弔問したのですが、安らかに眠っておられる君は今にも起き上るのではないかと思われる位実に穏やかな睡眠状態での大往生でございました。悲しみに沈まれる令夫人をはじめ、御一家御親族の皆々様に取り囲まれて、私は胸迫って言うべき言葉もなく枕頭に香をたき末期の水を捧げて君の御冥福を祈りながら声もなく辞去致したのでございます。

この夜は近親の通夜、17日一般友人等の本通夜18日本葬が悲しくもいとも厳粛裡に執り行なわれたのでございます。

法名 顯明院円心日立居士位

熟々惟るに君の敵父郷土久蔵氏は資性質実剛堅にして、温厚篤実熱血を秘めて青春時代より早くも町政に関与せられ、町議会議員として活躍、進んで神奈川県議会議員としても長く敏腕を振われ、町政に県政に幅広い幾多の輝かしい業績を残されたことは、私達県民の脳裏に強く印象づけられて消えることはありません。

県議引退後の氏は、大磯町長として生涯を捧げられ、町民尊敬の的でありました。

君はこうした名門の1人息子として明治41年7

月10日呱呱の声をあげられました。

健康に恵まれた君は、名門湘南高校を卒業後、東京歯科医専に入学、昭和7年3月目出たく卒業されました。

尚、数年間の歯学研習後の昭和10年、国鉄大阪病院に勤務せられ、続いて国鉄札幌病院に転勤、昭和21年まで戦中戦後を通じて実に11年間の長い勤務生活を終えて帰郷されたのでした。翌22年現在の自宅開業以来35年間地域社会のため、献身的奉仕に日夜克苦勉励されました。こうした中で洋子夫人との間に長男純久君、次男尚司君、長女たか子さんと良い子宝に恵まれ、幸福な生活は続きました。

長男は東京歯科大学卒業以来、父君立夫氏と共に診療に、次男も東歯大卒業後小田急沿線の秦野市に開業されて盛業中の由。長女も平塚市の歯科医院に嫁がれて、一家を挙げて歯科医業に専念され、周囲羨望の的でありました。

翻って思い出せば5年半前、君は軽い心臓病に冒されたことがありました。療養の結果、間もなく快方に向われ今日まで異状なかったのですが今回の硬塞発作は過去の第2震ではなかったかと愚考致すのでございます。生者必滅は世の習いとは申しますが、願わくは天、今暫らくの余命を君にお与え賜わりたかったことを祈念すること切なる昨今の心境でございます。

噫！ 嗒呼！

君は趣味と娯楽として、天下の名門湘南高校入学以来柔道部選手として活躍されました。東歯在学中は東都医歯薬連盟の対抗試合に母校代表として奮闘されたことも、今は思い出となりました。

戦後開院された君は、柔道をもって地元警察署員の育成に、また青少年児童等のために、柔術を通じて体育と品性の陶冶に生涯を捧げられ、町民

クラス会だより

敬愛の的でありました。

また河海沼湖における釣り師としても、君ほど徹底的にこの道に精魂を傾けた人も少ないのではないのでしょうか。

君曰く俺に職業の自由を選ばせれば、漁夫になったであろうと。常に枕頭には愛竿を置き、釣り仕掛けの工夫に余念なかった。

今は亡き君の面影、果てしなく続く君への思慕、千々に乱れる我が思いです。

冀くは在天の霊よ 安らかに

御遺族の皆々様、お健やかに、朝夕の念仏供養怠りなくお暮しあらんことを、心より祈念しつつ拙文を終らせて頂きます。頓首再拜 合掌

昭和56年3月 根岸昌之

四 海 会

昭和8年卒

芝崎佐平君逝く



随想

去年11月頃、右腰部に軽い痛みを訴えたが、御本人は、さしたることなしとて、中野の自宅から横須賀の大学へ出掛けて行ったという。

偶々、学内集団検診で精密診査の要ありということになり、検査の結果以外にも、左大腿骨上部に半月状の骨の実質欠損が発見され、骨折の恐れありということで入院することとなり、12月8日新宿区の国立医療センターに入院、大腿骨の補強手術を受け経過は極めて順調であった。処がベッドで寝返りをする時腕に力が入った瞬間前腕骨の予期しない骨折が起き呼吸器内科の検査で肺癌の骨への転位が疑われたが老人性結核として治療中1月25日容態急変して不帰の客となった。病理剖検の結果は、肺腺癌であった。葬儀は1月28日中野区の宝泉寺において、神奈川歯科大学教授、飯塚喜一教授の司会によって行われ、各方面から寄せられた供花は、故人の遺徳を讃え、在り日の遺影を囲み、香煙の中に導師統経、葬儀委員長の事辞に続き、神奈川歯科大学久田太郎学長、学生代長、その他、弔電披露、そして御遺族最後の焼香で式典は葬儀

委員長の挨拶をもって終了、一般参列者の焼香の列は延々と続き、大学、学会防衛庁、医療器業、大学学生、衛生短大生、その他の参列、四海会在京者、遠くは富山の米田君、伊豆の杉本君、母校からは級友山名誉教授、高木副学長、安嶋同窓会長等に見送られて、霊柩は落合葬祭所に向った。

“後を顧りみない”芝崎君にふさわしい、花の生涯の終焉であった。

来るべき昭和58年は、四海会は半世紀を閲し、卒業50周年を迎えようとしている。その間、級友はその半ばを失い、数は2桁台となる。芝崎君の死により、今更ながら老残の感を深くするのである。

祥夫人の話によれば、生水は鳥取で、早くに両親と別れ、六番目の子として、幼い頃から人知れず苦難に耐えたのであろう。精神的には孤独感の強い、優しい心の持主である片面に頑固な性格であったと述懐されていた。

一介の開業医に甘んぜず、戦前戦後の21年間を役人として過し、晩年は大学教授の道を歩んだ変り種であった。

話は学生時代に戻るが、四海会の名付親であり学生時代のクラス主任であった。故風間又四郎先生が学生会で口腔衛生部の部長であった時に芝崎君はその部員として、都下の幼稚園を部長と共に巡回し、園児の口腔診査に従事していた。彼が一生の仕事を公衆衛生関係に終始した源点は、この辺にあり、風間部長の薫陶にも大きく影響を受けた賜物ではあるまいか。

(昭和10年) 祥夫人と結婚、鳥取から大阪は尼ヶ崎に移る間、開業生活

(昭和18年) 大阪から開業生活を打棄て、風間先生在職中の東京都教育庁に赴任した。彼の胸中には、公衆衛生への同志的結合があったに違いない。恩師と別れ、10年後の再会はさぞかし感激の御対面であったろう。昭和18年といえは、東京が市制から35区の都制に変わり、戦雲が深く立ち込められた緊迫した状況下であった。やがて学童疎開、鉄兜とゲートル姿で、空襲警報のサイレンが無気味に鳴る街を、空腹を抱え気持だけが高ぶる毎日毎夜であった。

(昭和20年) B29の大編隊の空襲は、東京都庁の庁舎を焼き、下町は瓦礫に化し、一望焼野ヶ原となってしまった。戦災孤児と食糧難、それでも意気軒高、だがピカドン終戦でガックリ、風田先生も芝崎君も、今の神代植物公園で都の職員達と一緒にサツマ芋作りの日が続いた。

京王線の調布駅から、都の職員農場へ通ずる道筋に東京から焼出された私の家へ、お二人がよく立寄られ、消気切っていた私を慰め元気つけて呉れたことを想い出す。芝崎君一家がチビ連を引きつれて来た時は、我が家のチビ連と大騒ぎの一日であった。人間天皇が全国巡回、学校歯科の巡回診療車の活動、GHQ指令で都下学童のアマ充、記歯抜去の薬品資材は都教育庁から配給され、学校歯科医はシラミを気にしながら、半ば強制的に働かされた。その頃の芝崎君は学校歯科のドンであった。

(昭和22年) 鐘の鳴る丘の歌が流れ出し、役人生活5年を経た頃、教育庁から、勤務先が都の衛生局に移り、歯科医務課に転属された。六三制の実施と学校給食が開始された頃である。

(昭和30年) 太陽族が、ことばの世界を賑わす頃、大阪に本舗をもったS歯磨会社が、神武景氣に便乗してか、東京に販路開拓を目指して、T新聞社事業部と協力“歯の女王”コンテストを企画し、東京都歯科医師会主催の行事として、その第一回“女王”発表会が日比谷公開堂で華々しく、アトラク入れて開催され、翌朝の新聞には“歯の女王”の写真が紙面に大きく載せられ、口腔衛生

との関連記事が大段的に報道された。ラジオもテレビもニュースの時間に放送した。歯科医師会のお偉方方間には、この行事は歯磨屋の提灯持であるとか、単なるフェスティバルで公衆衛生活動としては、ふさわしくないと難色を示したが、芝崎君の強行な背後からの支援があって成就したものだ、後日、その審査委員であったN教授から聞かされた。ともあれ当時のマスコミは、我々歯科界に好意的であり、公衆衛生活動に協力的であった。それが今日打って変って、医療不信を駆り立てているとは想像もしなかったことである。

近年、国のレベルで歯科保健行政に新しい措置が打出されている。思うにその源流は芝崎君の往年の構想が実現したものであろう。

(昭和35年) 全学連が世界語となり、安保騒動のあった年、東京女子医大で級友村瀬君が主査となり学位が受領された。その村瀬君も肺癌で芝崎君より一足先にこの世を去ってしまった。

(昭和39年) 愈々21年間の役人生活に終止符を打つ時が来た。都の衛生局から、八王寺、立川、淀橋の各保健所の衛生課長を歴任し、四月新たに横須賀に開校された神奈川歯科大学(初代学長松垣麟三氏)の社会歯科学担当教授として就任した。新幹線が開通し、東京オリンピックが開催された年である。

(昭和45年) 私の女房が死んだ通夜の晩“海外旅行でもして気を晴すんだね”と慰めて呉れた。それ以来14年間の久しい間、遂いぞ彼と会う機会がなかった。偶々芝崎君の長男と私の長男が矯正の教室が同門、末娘が昭和矯正学教室の人と結ばれたのが縁で間接的に芝崎家の消息をそれとなく聞いていた。離合集散世の習い、広いようで狭い世の中である。

芝崎君は瘦身ながら、心身共に丈夫な方で病気で学校を休むようなことは殆んど無かった。軍港の街、横須賀へ中野から東京駅乗換えで、往復3時間余りの横須賀線の車中は、ラッシュ時間に逆行とあって、通勤は寄しる彼にとり、安らぎの場であったろう。

大学では、永年に亘り図書館長として、又初代弓道部長として、学生達に親しまれた。そのお人柄

は和光同塵を地でゆく、一味違う教授であった。

今年3月、晴れて停年退職が予定されていた。その矢先の入院である。入院前日まで杖を引いて中野の家を出たが、夜遅くになっても容易に帰宅せず、祥夫人は心配の余り、駅まで迎えに行った処、追試験答案の整理と身の困りの処理に、思わぬ時間を費したとのことであった。最後まで、やるべきことを、やり通し病慮に挑戦したのだが、

無情にも春を待たずして幽冥境を異にすることとなってしまった。

御長男は昭和医大歯学部矯正学教室の教授、御次男は、防衛庁歯科医官、御三男は歯科医療器械商、お二人のお嬢さんは、夙に他家に嫁し、通夜の晩、10人のお孫さんが集る状願の憂いなき御生涯であった。
(吉井三郎)

51 期 会

昭和20年9月卒

1) 学友丸森源七郎君の急逝

げにやもとよりも定めなき世といひながら無常の嵐風吹き来り丸森君が1月28日東北大学病院にて肺炎で亡くなられた。その1週間前中村君から入院中ときき御見舞を送った直後佐藤(温)君より訃報に接し半信半疑しばし驚愕忙然だった。現症歴：12月8日仙台市立病院に胆石除去胆嚢手術のため入院術後小康状態を経過16日症状急変し出血多量2回目の手術施行18日腹膜炎併発と膀胱悪化で21日東北大学病院に転入院し毎日輸血施行面会謝絶、肺炎併発で容態悪化し意識昏迷危篤状態となる。30日通夜31日仙台市光寿院でしめやかに葬儀が行われ在京幹事を代表して鶴岡、母校病院院長高橋(庄)君、田上君、本吉郡唐桑の佐藤(温)君が参列し友人代表として佐藤(温)君が弔詞をよまれ生前の彼を偲び痛恨の名残りをおしんだ。

悲しみの涙眼にさえぎり思いの煙胸にみつ、夕刻仙台ホテルで追悼会が行われた。丸森君は誠実信義に厚い性格で学生時代は卓球部で活躍され在

りし日の英姿が眼前に徘徊している。マルさんのニックネームで親しまれ学友間の人気者であった。又酒を一滴も飲まないのに人を笑わせるユーモアの話術にたけていた。20年前仙台で学会があり作並温泉で歓談に花を咲かせた一夜が最近の様に思い出される。丸森君は東京歯科大学同窓会宮城県支部長、宮城県歯科医師会代議員議長、宮城県歯科医師会医事紛争処理委員会委員長、宮城県政治連盟議長等の現職にあって大きな願望と期待感を寄せられていただけにその任期中に他界されたのは全く残念である。丸森君は遠く光と共に白妙の白雲に打ち乗りて十万億土の西方に旅立たれた。幽冥境を異にした今ご冥福を祈ると共に天応院大医博仁清居士の靈に心から哀悼の意を表します。

2) 年会費納入の通知

毎年51期会報に振込用紙を同封してありますが未納の学友は5,000円を会計担当の並木幹事宛に至急振込んで下さい。
(鶴岡 記)

い と し 会

昭和24年卒

木々の芽もふくらみ、なんとなく春の気配を感じさせられる、今日この頃です。いとし会の先生方、御健勝にて仕事に又健康管理にとお忙しい毎日をお過しのことと思います。昨年秋の新潟でのいとし会総会の席において、56年度の総会は、

あのなつかしい水道橋の校舎移転の時期に合わせたらどうかとの意見が大多数でございましたので、幹事一同、種々協議、検討致し、大体の案が出来ましたので、このいとし会便りにて予告通知をする次第です。

現在子供達を大学に送って居られる方も大勢居られることと思います。新しく出来上った稲毛の千葉校舎に集って、これからの校舎の様子など見学し、昔を語りたいと思いますので、出来るだけ大勢の参加を希望致します。

詳細は後刻、通知しますが、現在迄の幹事会においての予定では、11月7日(土)に杉山君のお世

話で予約してあります。千葉県木更津市の観月荘に集合し、当夜総会及び懇親会を行い、翌日バスにて稲毛の東歯大千葉校舎に行き、式典に参加し校舎の見学等する予定でございます。旧交を温めたいと思いますので先生方も当日を予定し、万障繰り合わせての全員参加を望む次第です。

(幹事 森滋 記)

いそむ会

昭和26年卒



全国のいそむ会会員の皆様お元気ですか。いそむ会30周年記念大会は、去る10月17～19日の3日間、晴天に恵まれ、盛大に執り行われました。初日の17日には、芝の東京プリンスホテル鳳凰の間で、記念式典として松宮学長、伊丹同窓会副会長およびクラス主任関根前学長未亡人の御臨席のもとに、30年前の紅顔の美少年美少女と同伴者、合わせて70余名が参列し、和気藹々の雰囲気がかもし出され、式典担当の中野年朗君はじめ各担当委員のご努力によって、格調高く盛大に挙行されました。式典後、江戸情緒豊かなアトラクションと共に立食パーティー形式の懇親会に移り、華やかな模擬店も色を添えて、誠に楽しい団らんとなりました。翌18日は、一同、ホテル前より2台のバスに分乗して出発。箱根芦ノ湖畔にて昼食。天野聖造君の特別手配による、超デラック遊覧船による芦ノ湖周遊を楽しみ、関所跡の見学などもして、早めに、熱海の錦城館に到着。55年度クラ

ス総会実施後、大広間にて、天野君はじめ神奈川の委員諸君のお世話による懇親会が開かれました。盛大なアトラクションと、会員各自の隠し芸披露も進み、酒よし、料理よしで、実に素晴らしい秋の夜長を満喫することができました。本大会は、各人の人生においても、一つの大きな節目と考えられるので、多数参加を第1目標として、関東一円のクラス員一同が準備に当り、当番幹事の小熊一路、桑田昇両君等の絶大な努力により、記念大会が盛会裡に終了できました。ここに深く感謝いたします。なお、30周年記念行事の一つである。クラス会誌(写真主体形式の予定)発行については、大森直樹君他6名の担当委員で鋭意準備中ですので、資料の写真等の送付にご協力方お願いいたします!

昭和56年度クラス会は、平川幸矢君のお世話で越前方面で実施される予定です。全員で参加しましょう!

クラス会だより

大会出席者（順不同、敬称略）：天野（聖）、平川、大塚、松崎、金指、山下、上村、板倉（以上は夫妻で参加）、中尾、山田（照）、阿比留、駒橋、水島、武井、橋本、佐藤（敏）、佐故、小峰、田中、大森、山田（保）、八幡、布施、渋谷、成田、北村（明）、武田、塚田、坂本、増田、公平、

大川、風間、富田、北村（昭）、青木、片山、瀬川、吉川、榎田、横瀬、横井、武部、鈴木（和）、田辺、中野、桑田、小熊、渡辺、竹下、貝塚、武石、斉藤（顕）、荒木、三須。以上。

（30周年記念大会実行委員長 坂本 優 記）

ジーン会

昭和34年卒

渡辺基一君を悼む



昭和56年1月21日、早朝の電話で甚さんが4時15分、脳出血のため亡くなったとの知らせを受けた。しばし茫然と立ちすくみ、何をしたか自分でも全く記憶に無い程であった。あんなに頑丈そう

な君の死は、あまりにも突然のことで夢だに思わなかった出来事である。生者必滅とはいえ、未だ46才の若さで——、あまりにも早過ぎた、まことに痛惜に堪えない。前夜も歯科医師会の会合で大勢の方々元気と話合っていたそうじゃないか。私が最後に逢ったのは昨年秋頃であったと思う。久し振りに酒を呑み、長いこと語り合った。彼は

以前、80数キロの巨漢であったが、ここ1～2年の間に食事療法等の摂生の効あって、とてもスマートな体躯に変身した。その時、「俺もやっと背広の似合う体になったろう」と自慢気に語っていたのが私の印象に強く残っている。彼は卒業後、口腔外科の大学院に進み、学位論文終了後も講師として、また医局長として昭和44年6月退局するまで活躍した。同年7月、日本テレビの診療所に勤務し、その傍45年9月神田岩本町の自宅で渡辺歯科を開設、亡くなる前日迄両診療所で隔日に診療を続けていた。彼の優しさ、面倒見の良さは誰からも愛され、また患者さんからも優しい先生と大変慕われていた。本当に人望の厚いいい奴だった。甚さん、なぜこんなにはかなく逝ってしまったのか。御遺族をお慰めする言葉もなくまことに惜別の情に堪えない。よき友よ安らかに眠り給え、さようなら。

高梨恒一

十 期 会

昭和37年卒

十期会 開催のお知らせ

昭和37年卒業後、早や20年が訪れようとしている。しかし、この年月を決してわれわれは無駄に過してはいない。すでに母校には溝上教授、野間助教授、また昨年には高江洲教授（前岩手医大教授）若月教授（昭和医大）、また地域的には歯科医師会会長、理事、その他各方面での医療活動はもちろんのこと、地域発展のために大いに活躍されている級友が多々である。また東歯大も稲毛（千葉県）に校舎新築移転（56年度中）の大事業を成し遂げようとしている。この機会に学監金竹

教授と共に、われわれの歩んで来た道、また今までの東歯、これからの東歯と山積している数々の思い出話の機会を持とうとクラス会を企画した。東京近県の方はもとより、遠方の方々もぜひとも御参集して旧友の元気な若さにあふれた姿で全員参加を希望しています。追って詳しい案内状をお送りしますので乞御期待！

日時 56年6月27日（土） 午後4:00集合

場所 熱海市 桃李境

熱海駅よりタクシー5分

（幹事代表 山内英徳記）

踏 志 会

昭和41年卒



衆参同時選挙において、我々歯科界の関口恵造先生の上位当選の興奮もさめぬ、6月28・29日の両日新潟市において、第15回踏志会総会が開催されました。総会の前日の27日はあいにくの梅雨空のもと、参加者9名にて、親善ゴルフ大会をフォレストGCにて行い、夕刻集合場所であるホテルオークラ新潟に集合、総会・観光の参加者と合流しばし旧交をあたためていました。翌朝もしとんと降る雨の中一同打そろって、佐渡・新潟間を60分で結ぶ、ジェットフォイルおけさ号にて雨雲の重く垂れこめる佐渡ヶ島に出發、佐渡観光はあいにく小雨が降ったりやんだりする中を、観光バスにて午前中は神社・仏閣を見学したのち、佐和田町の八幡館において昼食を取り、午後は相川町の佐渡金山鉱道内を寒さにふるえながら通りぬけ、当時の金の抽出方法の模型説明を見学したのち、雨と霧にけむり視界0に近い大佐渡スカイラインを観光バスは快調に走破、バスガイドさんの晴天時には眺望出来るはずの風景描写に、各人それぞれ、標高千メートルから見れるはずであった、大佐渡の雄大な景色を空想しつつスカイラインを通過し、最後の観光場所である佐渡無名異焼の窯元で一休みしたのち、両津港より佐渡ヶ島に別れを告げて夕刻新潟港に着きました。

第15回踏志会総会は、夕刻新潟駅に着いた総会出席者も含め総勢39名にて、料亭鍋茶屋にて開催され、千葉より出席の篠沢君を議長に指名して開会、今期もクラス会々長は欠席であるが指名、他

の幹事も会長一任とし総会は約5分間で終了し、引き続き石川より参加の奥平君の乾杯により懇親会にうつり、新潟の誇る鍋茶屋の料理と酒に舌づつみをうち、新潟の古町芸者のお酌と踊りのうに一夜を過し、もつと旧交を温めたい人は二次会・三次会と夜の街へ散ってゆき、新潟における観光・総会・懇親会・ゴルフともに無事雨の中で終了しました。踏志会の終了した翌朝の新潟市はなぜか快晴でした。

クラス会参加者は下記の通りです。○印はゴルフ参加者です。

安藤 彰彦	青木 栄夫	○赤柴 俊也
上竹 成一	白田 威	小川 敏彦
奥平 秀子	奥山 誠	角田 達彦
○笠原 保	勝井 健介	門屋 高靖
神谷 文彦	河村 富次	川村 了一
○黒田 光煌	○篠沢 宏	○柴山 謹一郎
田中 紀夫	田中(畑)令子	高橋 捷治
武田 洋一	寺木 春江	成田 興治
○藤井 康博	○丸田五十三	武藤 章美
○八百枝 勝	○山口 弘一	山口 英男
山中 秀明	早稲田正紀	

以上32名

(勝井 記)

・第15回総会（於新潟）にて54年度会計決算、56年度事業計画案、56年度歳入歳出予算案の説明がなされ、承認された。又次年度役員として会長に藍原、副会長に上竹、白田両君が再選され

た。

・本年度の総会が神奈川県当番のもとに次の様に計画立案されていますので、是非多数の参加をお待ちしています。9月11日(金)ゴルフ・コンペ、於：戸塚C・C、9月12日(土)鎌倉・江

の島・横浜バス観光後、夜、中華街・万珍楼にて総会、ザ・ホテルヨコハマ宿泊、9月13日(日)解散の予定です。後日幹事の方より、出欠に関する葉書を送附致します故、必ず御返信下さい。(藍原 記)

第7回全国同窓囲碁大会開催さる

第7回を迎えた全国同窓囲碁大会はまだお正月気分のとれない1月18日(日)、市ヶ谷の日本棋院6階大広間で開催された。今年は裏日本地方の豪雪で止むを得ず欠席された先生方もおられたが、例年の如く全国各地から、腕に自慢の強豪が多数参加され賑やかな棋戦となった。今年は古手?先生方の活躍が目立ち、若手を圧倒して多くのカップを手にしたのが印象的であった。

囲碁はアメリカでも盛んで、ロサンゼルスのある有名大学UCLAでは毎週1回研究会がもたれている程である。参加している青い目の打ち手はコンピューターを専攻している学生や、研究室員が多く、知的思考のトレーニングに最適なゲームともてはやされている。その意味で諸先輩のご活躍は若き頭脳の証明であって、誠にたのもしい限りとお見受けした。

昨年は、加藤正夫、小川誠子の両本因坊の指導碁があって、人も羨む程の大会であったが、今年はじっくり碁を打つという大会本来の形式で行われたが、これも好評であった。ただし、指導碁を是非というご希望もあり、来年は花やかな企図を

予定しています。今年は10級の先生も参加され、碁がお好きな先生なら強い弱いに関係なく、親睦とムードを味って下さい。来年お正月、またお逢い致しましょう。(高橋一祐 記)

[成績] ()内は卒業年次

本因坊戦優勝、上杉光永(39年)、準優勝 大橋勲(43年)、3位 池原 洸(45年)、敗者復活戦優勝 高橋一祐(32年)

一般戦優勝 高津正真(29年)、神谷昭夫(34年)、前田 洋一郎(37年)、準優勝 岡 秀哉(14年)、田辺 明(26年)、久保田正義(22年)、原島 (晃)53年)、平野和夫(53年)、高原利幸(53年)。

[参加者] 岡本種義(大正14年)、二階堂則彦(22年)、広瀬 勇(43年)、森 輝夫(42年)、秋広良昭(43年)、橋本岩男(39年)、柳原正義(47年)、伊藤 励(51年)、柴田恭典(53年)、大須賀豊(53年)、田本 晃(53年)、田本裕二(53年)、福島史朗(53年)、露口晃宏(54年)、松井 隆(49年)、高橋哲史(55年)、宇佐美孝之(55年)、岡田泰幸(55年)(順不同)



すいどうばし

会員寄稿欄



蚯のたわごと

鈴木 肇（昭和26年卒）

卒後30年経過したので蚯のたわごとでも論述して医療荒廃の乱世を生き抜く活力に見たい。半世紀以上に及ぶ古い時代の保険医療制度の悪環境の中で良くも生き抜いて来たものだと過去の足跡を今更ながら反省させられる。しかも生命の続く限り歯科診療を続けることは間違い無い。私と同年のサラリーマンは停年退職で職探しに大童である。幸に私にはその心配が無い。しかし国民大衆は医者への儲け過ぎ、金権体質、乱診乱療、不正請求、脱税等と、医師に対する尊敬とか信頼感は殆んど地に落ちたものである。医学技術の進歩、医療器機の高度化、国民の高齢化、医歯系大学の乱立、医師の増加等々、われわれ医師の周囲を脅かす材料が豊富で、独立性に少なからぬ不安感を生ずる。特に患者の開業医離れ、歯科110番、保険監査の強化、検察庁、税務所の悪徳医の内偵、マスコミの報道等、まるで医師全員が不正行為をしておるかのようになり強力的な圧力をかけ、正しい診療をして居る医師には全く迷惑である。

考えて見れば保険医は飼われた小羊の如く保険制度という枠の中で追い回されておる。国民皆保険という国策に協力して居りながら、常に監視され、一度間違いが発見されるや立派な医師達が脱落し一生を棒に振る暗い生活の中に追い込まれる姿は見るに忍びない。他方医師離れ、受診率低下

による廃院の増加、技工所の倒産が目立つ上に、近き将来の医師過剰時代に如何に対処し、生き抜くか深刻な課題である。

(1) 自己防衛を急げ

自由診療医、保険医に拘らず開業医は医療荒廃の乱世を生き抜く為に自己防衛をする必要がある。その為には特色ある医院に変身することが先決である。次は経費の減量作戦、税金対策が急務である。患者に対しては医師としての人格の完成、思いやりの心からのサービスと自己の医療技術の向上、勉学を忘れないことである。しかも苦境に立った場合頼るのは自分自身である。

(2) 母校の安体を図れ

医療乱世を生き抜くもう一つの条件は、内外的に著名で伝統の在る母校の安定を図ることである。(i)東歯大を地方歯大のイメージにしないことである。最近医歯系私大のみならず私立大学経営で悪評が紙上を騒がせておるが、母校だけは一点の汚点を着けたくない。その為には理事者、同窓生、在校生が一丸となって学校支援に体当たりすることである。(ii)特別賛助員を作ることも一つの方法である。即ち同窓有志に依る母校独得内容の特別賛助員を作り、学校経営に対する支援、退職教授の優遇、在校生に対する学費の支援等、救援活動は多々ある。特別賛助員拠出の資金を積立て随時救

濟活動に当てるのである。また同窓生の救援にも活用する等従来の同窓会とは全く別な趣旨で、先づ賛助員の資格を得て欲しい。(4)水道橋校舎の活用を図ることは重大問題で、理事者には既に企画がある由だが、私見として、東歯大を地方歯大イメージにしない為にも名誉教授の先生を主体として特診患者の復活を考えるのも方法と思う。古き良き患者を稲毛まで送らず、矢張り水道橋で診療することが、東京の東歯であると思う。また老先生が白衣を着けて病室に居る姿を見、水道橋校舎を回る同窓生の胸の中は皆同じ、学校同窓生一体になれる日本中唯一の場所である。水道橋校舎は

同窓生の心のより所である。

(3) 現行保険医療制度を改革せよ

年間医療費13兆円の莫大な額、薬漬け、検査漬け、乱診乱療、最後は不正請求脱税にまで追い込まれたのは医師で、医師の倫理、モラルの低下を誘ったのもこの欠陥だらけの医療制度である。医師過剰時代が来る前に患者も医師も安心して生活の出来る医療制度を創るのが急務である。しかも医師と国民の手で。

(私見「我が国医療制度の本来像」を発刊、好評、希望者は TEL 0466-26-2600 まで無料贈呈)

◆へんしゅうこうき

わが同窓会に新しい会員170名をむかえたこの頃、編集委員会はこの会報が今までにも増して、より多くの会員に楽しみに読まれるものにしようと、河邊会長の激励のもと、毎回激論をたたかわせています。その道のプロの意見にも耳を傾け、よりあかぬけたものにしようということでごんばっておりますので、今からお楽しみの程を。

学内の先生方の状況を、学外の立場から一言、稲毛移転を前にして、日夜準備にお忙しく、通常の仕事の上なので、はたから見ても気になる程であります。せめて今一層の寄付金追加なりとでも、激励いただけると幸かと思えます。

マスコミ攻勢についての一つの偏見

書かれていることは一部の人であるにせよ歯科医師はこうあって欲しいという願望ではないか、「医は仁」であるならば患者さんの云うことに耳を傾けることが、しあわせへの道ではないだろうか、何が正しいのかという基準をどこにおくのが今は問題になっているのではないのでしょうか、この解決は我々のみの正義ではなく国民すべてに納得のいく正義というものはないのだろうかと思えます。

(林 量一 記)

広報担当理事：中村泰之、溝上隆男、松川健二、伊藤 哲、白崎源有、林 幹雄、馬嶋 博、野上順平
広報部委員：中久喜喬、梅田昭夫、倉橋和啓、山本啓介、櫻井善忠、薬師寺仁、松井恭平、林 量一

昭和56年4月15日 印刷

昭和56年4月20日 発行

東京歯科大学同窓会会報 第200号

編集・発行人 中 村 泰 之

東京歯科大学同窓会

〒101 東京都千代田区三崎町2-9-18

電話 (03) 262-3421 (内線 226)

(03) 264-4859 (直通)

印刷所 一世印刷株式会社

東京都新宿区下落合2-6-22

電話 (03) 952-5651 (代)

高輪と品川、ふたつのプリンスホテル

両プリンスホテルは、東京歯科大学同窓会の皆さまに特別サービスをご用意して、ご利用をお待ちしています。



由緒ある日本庭園を配して緑の中に静まる高輪プリンスホテル。500の客室、10をこえる各種レストラン、バー。つねにプリンスホテルならではの、まごころをこめたおもてなしで内外のお客さまをお迎えし、真のくつろぎを提供いたしております。



都内でも有数の設備を誇るスポーツランドをはじめとして、のびのびと楽しめる新しいタイプのホテル、品川プリンスホテル。ビジネスでのご利用はもちろん、ご旅行にもご家族でのレジャーにも幅広く、気軽にご利用いただきたいホテルです。

●ご宿泊●

特別割引料金にてご利用いただけます。

ご予約は、会員専用の予約直通電話をご利用ください。

高輪プリンスホテル (03)445-1855 品川プリンスホテル (03)449-3581

★上記専用電話以外のご予約につきましては、特別料金によるご宿泊は、できませんのでご了承ください。

●ご婚礼●

同窓会の皆さまと皆さまからご紹介いただいたご婚礼に対して、

各種のサービスがございます。

サービス適用ホテルは、高輪プリンスホテル・品川プリンスホテル・麻布プリンスホテル・白金プリンス迎賓館です。

★ご予約の際は必ず東京歯科大学とお申出ください。

 **高輪プリンスホテル**

東京都港区高輪3-13-1 ☎108 TEL.(03)447-1111

 **品川プリンスホテル**

東京都港区高輪4-10-30 ☎108 TEL.(03)440-1111



金属焼付ポーセレン用合金

KIK HARD II

- 硬度が210Hvと硬く、長いブリッジ・うすいクラウン等にも最適です。
- 流動性が優れており容易に鋳造できます。
- 焼成回数を重ねてもメタルの変形はほとんどありません。

主成分 金73%・銀2.8%・白金13%・パラジウム9.7%

諸性質 ● 溶融温度1240~1290℃ ● 比重17.8 ● 鋳造収縮1.34

	硬度Hv	引張強さ kg/mm	伸び%
鋳造時	180	44	5
グレース時	210	46	5
硬化時	225	48	4

KIKポーセレンの他VITA・CERAMCO等のポーセレンに使用できます。

石福金属興業株式会社

歴史が創り上げたユニットの傑作。

歴史の積み重ねは、私たちに
 知られぬ多くのものを与えてくれました。
 スタッフもまた、歯科診療の歴史とともに歩み
 続け、生かし、創り上げて70余年を過ぎました。
 永年ご愛顧いただいたマルチエイトシリーズ。
 時代の結論として誕生したのが、ザ・マルチです。
 ホワイトと、ブルジャンプリーのソートンに、
 切れ味の鋭さをたたえています。
 語らずとも、きっとお判りいただけるはずで
 す。その繊細で忠実なつくりは、
 ドクターの心をマスターした
 珠玉のユニットです。



ザ・マルチ

詳しい資料は下記へご請求ください。

◆ 株式会社 **ヨシダ**

〒110 東京都台東区上野7-6-9 ☎03-845-2911(代)

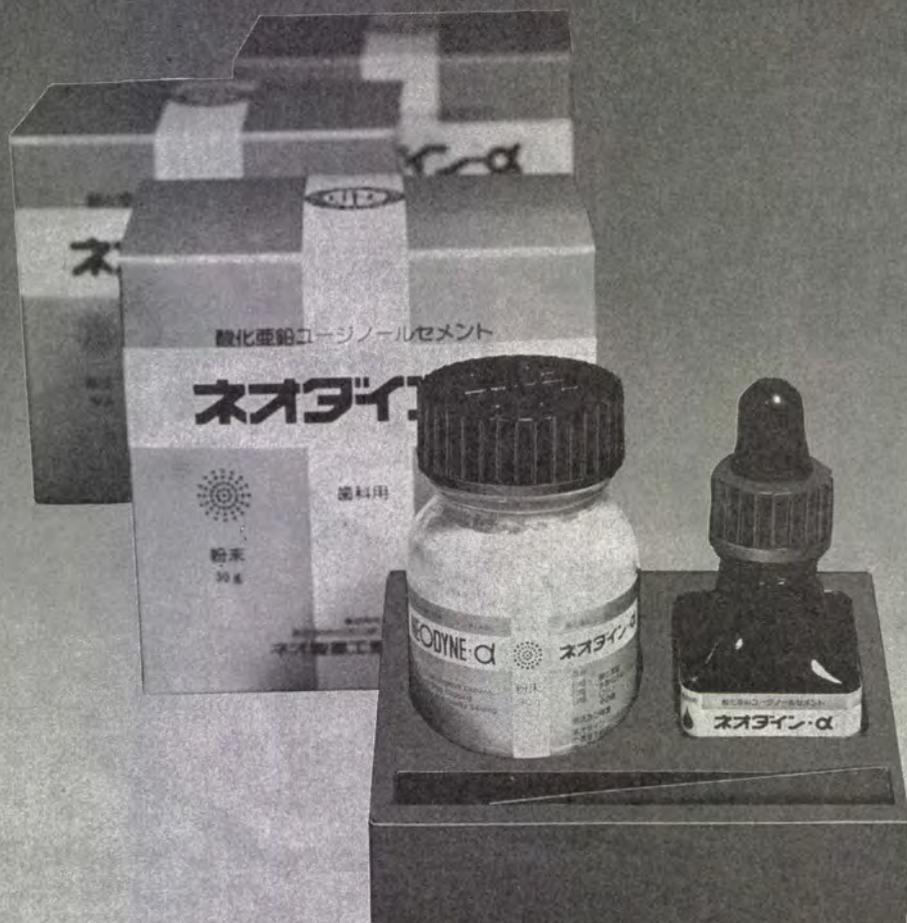
◆ 株式会社吉田製作所

〒130 東京都墨田区江東橋1-3-6 ☎03-631-219

新発売

酸化亜鉛ユージオールセメント
ネオダイナー[®]α

大きく飛躍して新登場!!



ネオ製薬工業株式会社
東京・長野

「快適診療の哲学」の追求が 生んだユニオートX

歯科機械へのたゆまぬ追求が新しい個性を生み出します。つねに歯科器材界に君臨し、リードしてきた最高級デンタルユニット〈ユニオート〉。虚飾を排したスタイリングはユニオートの伝統。それをさらに研ぎ澄ました、新しい時代のスタイリングと理想的な機構と機能。この相反する2つの性格を見事に両立。これこそ、オサダの技術と芸術の新しい結晶です。「快適診療の哲学」の追求が生んだ、真の歯科医療機器〈ユニオートX〉。



ユニオートX5100型
標準価格 ¥3,440,000

オサダの歯科機械
長田電機工業株式会社
東京都品川区西五反田5-17-5 ☎03(492)7651(代)

第3集「歯科医院のレイアウト」発行!

歯科医院の開業・増設にあたって基本的な設計の考え方から始めて、各部の重要なポイント、規制などを、設計図、写真をもとに解説。又別冊で開院にあたっての細かい材料、機器等のチェックリストも総て網羅してあります。この一冊があれば、開院・増設の準備は万全です。

体裁=A4判/100頁、内巻頭カラー32頁、定価5,000円

※ご購入の方はオサダ全国営業所・代行店、又は本社に直接お申し込みください。





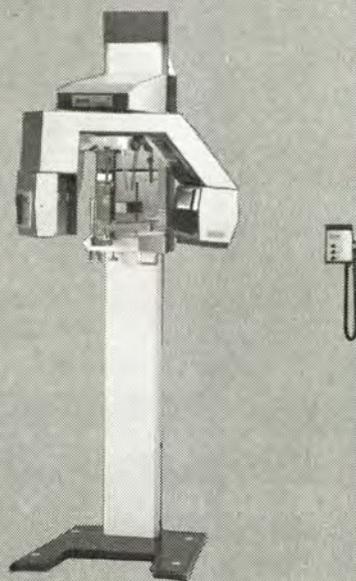
技術の差が、いま影像に。

Veraview

歯科用パノラマ直流方式X線装置

- 強力安定したX線照射を約束する直流方式。
- 患者の被ばくX線量を減少させた連続照射。
- 強力なエネルギーで断層幅が厚く、鮮明な映像。
- シャープな影像を結び、鋭焦点(0.5×0.5mm)X線管。
- 患者位置づけは、正確で容易。
- 据付面積は最少 (1.07×0.995=1.06㎡)
- 重量は190kgの軽量。

J.M.パノラマX線装置 ベラビュー 標準価格¥2,600,000 昭和56年2月20日現在



株式会社 **モリタ** / 東京都台東区上野2丁目11番13号 〒110 ☎(03)834-6161 / 大阪・吹田市垂水町3丁目33番18号 〒564 ☎(06)380-2525
 北海道☎(011)742-3507・名古屋☎(052)741-5461・京都☎(075)241-3131・瀬田☎(06)251-2525・広島☎(0822)91-3531・福岡☎(092)411-9162・北九州☎(093)921-5386
 盛岡・仙台・新潟・横浜・静岡・岐阜・金沢・滋賀・宇治・宮津・和歌山・田辺・神戸・岡山・米子・高松・徳島・熊本・長崎・鹿児島
 株式会社 **モリタ製作所** 京都市伏見区東浜南町680番地 〒612 ☎(075)611-2141 / 京都府久世郡久御山町大字市田小字新珠城190 〒613 ☎(0774)43-7594
 株式会社 **モリタ東京製作所** 埼玉県与野市上落合355 〒338 ☎(0488)52-1315

GC

ナノメートル

nmファイラーの

(ナノメートル:メートルの10、⁹ミクロンの1000分の1を表す)

マイクロレスト新発売



超微粒子ファイラーの威力は、
充填面のなめらかさに歴然です。

従来、一般に先生方がお使いのコンポジットレジン、約30ミクロン程度のガラスファイラーを使っています。マイクロレストのシリカファイラーは、なんとその1000分の1。0.02~0.03ミクロンという超微粒子です。従って、その差は歴然。重合面が違う、研磨面が違う、磨耗面が違う——すべてに緻密で均質なマイクロレストの優位性が現われるのです。その他、吸水性の極めて少ない特殊な疎水性モノマー、辺縁封鎖性抜群のボンディングシステム等、特長様々。これらはブランクの付きにくい滑沢な表面と相まって、美しさをいつまでも失わない、優れた充填を約束します。いかがですか——今日からマイクロレスト。

超微粒子ファイラー修復材●シリンジタイプ

マイクロレスト《マイクロシリンジ》

而至歯科工業株式会社 デジタルインフォメーションセンター **G-C DIC**
〒113 東京都文京区本郷3-2-14 Tel.03(815)1511 ●東京DIC 03(816)6480(直)

お問い合わせ先 ●北海道DIC 011(271)7373(代) ●東北DIC 0222(71)8757(代) ●名古屋DIC 052(703)3231(代) ●大阪DIC 06(771)4682(代) ●広島DIC 0822(55)1771(代)
●九州DIC 092(441)1286(代) ●新潟出張所 0252(84)6622 ●徳島出張所 0886(25)8244 ●長崎出張所 0958(47)6104 ●鹿児島出張所 0992(68)0070

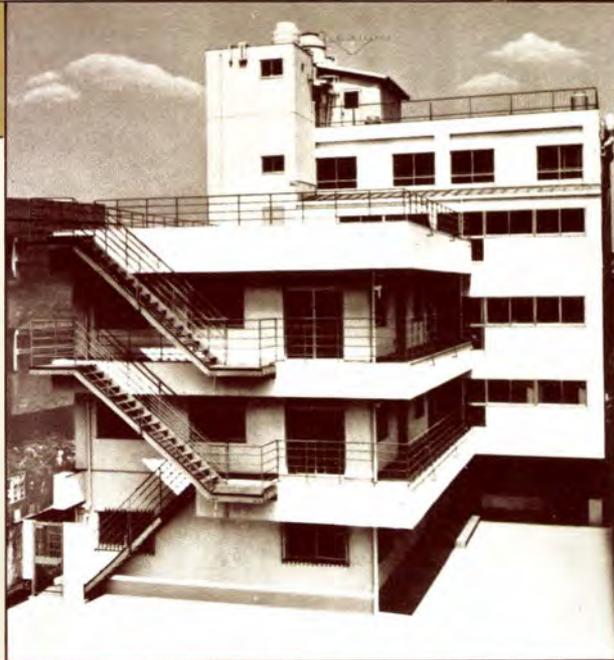
近日発売

超微粒子ファイラー修復材 ●ジャータイプ
マイクロレスト
《マイクロジャー》



歯科技工学科

理事長 歯学博士 大塚 昌助
 校長 歯学博士 大塚 弘介
 顧問 東京歯科大学学長 松宮 誠一



東京歯科技工専門学校

TOKYO DENTAL COLLEGE OF TECHNOLOGY

〒141 東京都品川区西五反田 5-1-10 (東急目蒲線不動前徒歩2分) TEL 03(492) 4221(代)

画期的な新製品の御案内

金を含有しない経済的でゴージャスな陶材焼付用セミプレシャスメタルの決定版

歯研パイロン

パラジウム・銀系
 セミプレシャス
 陶材焼付用合金

特 長

- ❶ 溶着力はゴールドボンディングエイジェントとの効果が相乗するので、従来品に比べて極めて優れています。
- ❷ 歯頸部や肉薄の部分の色調(色相、彩度)は、指定通りに再現され自然感を失わず、審美性に優れています。
- ❸ 比重がプレシャスメタルの2/3ですから、フルマウスで10g以下という驚異的な軽さで、一歯当り0.5g以下も可能です。
- ❹ 適合性、鋳造性、機械的性質が何れも従来品(Pd-Ag系)よりも優れています。
- ❺ 金を含有していないにもかかわらず組織親和性に優れています。
- ❻ 前ろう、後ろうが共に容易です。
- ❼ 陶材を選ばません。ピタには特に適しています。
- ❶ 熱膨張ヒステリシスが小さいので焼成後のメタルの変形がほとんどありません。
- ❷ 切削や研磨等の作業が容易で仕上りも優れています。
- ❸ 廉価でしかもメタルの再融解も可能ですから極めて経済的です。
- ❹ 焼成後の酸化物の色が灰白色です。
- ❺ 口腔内で全く変色しません。
- ❻ ワンピースでキャストできるので後ろろうをせずにメタルボンドと硬質レジン、あるいはフルクラウンとの組合せができます。
- ❼ 鋳造体からのガスの発生はほとんどありません。

歯研パイロン 関連材料	●歯研パイロン…10g ●ゴールドボンディングエイジェント…2g ●ゴールドボンディングエイジェント希釈液…5cc ●黒鉛台…5枚セット ●PKろう(前ろう)…2g
スターターキット	●歯研パイロン…10g ●ゴールドボンディングエイジェント…1g ●ゴールドボンディングエイジェント希釈液…5cc ●黒鉛台…1枚 ●PKろう(前ろう)…0.5g

新 発 売



「歯研パイロン」研修会のお知らせ
 新製品「歯研パイロン」の優れた特性と技工の実際を
 ご紹介するため、研修会を開催しております。
 詳細については、下記へお問合せください。
 日本歯研工業株式会社
 「パイロン」研修会係
 03-492-0927



日本歯研工業株式会社

本 社：〒141 東京都品川区西五反田5-1-10 ☎03(492)0927(代)
 支 社：〒553 大阪府福島区海老江1-5-67 ☎06(458)7071(代)
 上野営業所：〒101 東京都千代田区外神田6-10-6
 吉岡素材ビル2F ☎03(831)7031・7033